ふじみ野市

文化財だより 第11号

発行日　令和６年２月７日
発行者　ふじみ野市教育委員会
社会教育課文化財保護係
TEL 049-220-2088
FAX 049-261-5100
bunkazai@city.fujimino.saitama.jp

主屋

左：文庫蔵　右：離れ

市指定文化財の紹介

回漕問屋　福田屋

江戸時代から大正時代の初めまで、市内を流れる新河岸川は、船で荷物を運ぶ「舟運」が盛んでした。養老橋の付近には、荷物の積み下ろしを行う船着き場の「福岡河岸」がありました。

福岡河岸には、三芳町、所沢市や狭山市、さらには東京都青梅市などの地域から運ばれてくる荷物（農作物、薪、炭など）や、江戸から福岡河岸へ運ばれてくる荷物（肥料、塩、灰など）が集まりました。その荷物の運送や売買をなりわいとした回漕問屋３軒を中心に、福岡河岸は大変にぎわっていたといわれています。

回漕問屋の一つ「福田屋」は、天保２（1831）年から明治時代の終わり（1912 年頃）まで回漕業を行っていました。店と生活の場であった「主屋・台所棟」、接客用の珍しい三階建ての「離れ」、生活に関わる品々を保管していた「文庫蔵」の建物が現在も残っており、舟運の往時を伝える明治期建築の貴重な商家の建物であることから、平成元（1989）年 11 月２日に市指定文化財に指定されました。

回漕問屋福田屋の建物は、福岡河岸記念館として一般公開しています。ぜひご覧ください。

●福岡河岸記念館（市指定文化財　回漕問屋福田屋）
開館時間：午前10時～午後4時（5～9月は午後4時30分まで）
休館日：毎週月曜日、12 月 27 日～1 月4日
入館料：児童・生徒 50 円、一般・学生 100 円
離れ2・3階、主屋2階の特別公開：3 月9日（土）・23日（土）他
問合せ先：上福岡歴史民俗資料館（電話049－261-6065）

●所在地
福岡 3－4－2

正月と小正月の行事

正月行事

「正月」は、新年（年神様）を迎える行事です。皆さんも、年末から大掃除や正月飾り、鏡餅、おせち料理などの準備を進めていたのではないでしょうか。

昭和 30 年代頃まで市内の農家では、農作業の都合もあり、旧暦（月遅れ）で年中行事を行っていました。農家にとって１月は、肥料をつくるための落ち葉集めや、火の燃料にするための薪切りなどの仕事が忙しい時期でもあったので、月遅れの２月１日（旧暦１月１日）を元日にしていました。

農作業の機械化、産業や生活の変化などにより、今のカレンダーどおり１月に正月を迎えるようになっても、「節分」だけは、立春（２月４日頃）の前日という決まりがあるため、２月の行事として行われています。

☀今のカレンダーは太陽の動きに、旧暦は月の動きにあわせています。

～月遅れ（旧暦）に行っていたおもな正月行事～

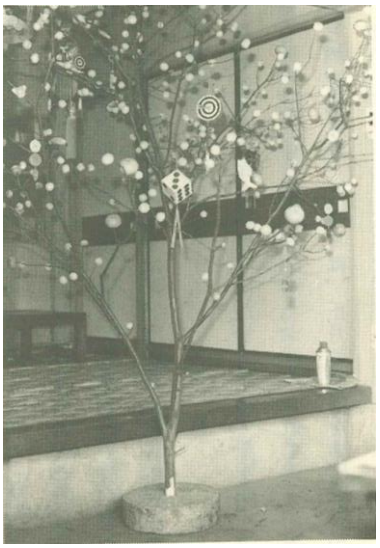
日　程	行　事	内　　容
2月1日（旧暦1月1日）	若水（初水）くみ	早朝に身を清めた年男（主人や跡取りなど）が、新調した桶・杓で井戸から水をくむ。その水で雑煮をつくる家もあった。
	初詣（初参り）	米や餅、賽銭をもって神社へお参りに行く。
２月２日	仕事始め	縄ない、畑仕事、道具の手入れなどの簡単な仕事や初荷を行う。
２月２～７日	セチ、オオバン	年始のあいさつ回りを行う。親戚や近所の人などを招待し、ごちそうする。
２月３日	節分	豆まき。焼いたイワシをヒイラギと一緒に戸口へ刺しておく。
２月７日	七草	なずな、大根、にんじんなどの野菜を入れて粥をつくる。
２月 11 日	蔵開き	年が明けてから初めて蔵に行く日。蔵の扉を開け、供え物をする。お供え餅（鏡餅）をくだいて雑煮や汁粉にして食べる。

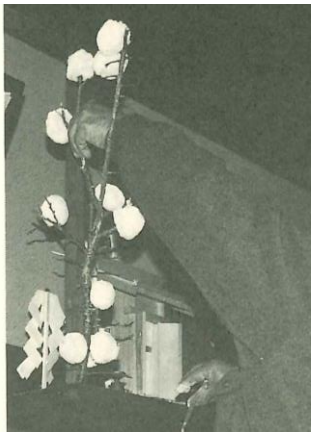
小正月

正月が過ぎ、15 日前後に行う行事を「小正月」といいます。小正月では、豊作や家内安全などを願って、飾り物をつくるところがありました。

40 年ほど前まで、市内の農家では 13～14 日に「まゆだま」をつくり、小正月の 15 日に家の座敷や神棚などに飾っていました。

小豆粥を作って、食べる家もありました。





まゆだま
『大井町史　民俗編』
『上福岡市史　民俗編』から

まゆだま

「まゆだま」は、絹糸の原料となる蚕の「まゆ」を意味し、農家では田畑の作業のほかにも養蚕を行い、生計をたてていました。小正月の時には、まゆや作物がよくとれるように願いをこめて、まゆやサトイモ、サツマイモ、米俵などのかたちにした団子を、木の枝に刺して「まゆだま」をつくり、家の座敷や神棚などに飾りました。

今では、まゆだまを家庭でつくることはほとんどなくなりましたが、市立さぎの森小学校（市内駒林）では、毎年２年生の授業の一環としてまゆだま体験教室があり、今年度は１月 16 日（火）に開催されました。今回、まゆだまのつくり方や、協力された地域の方々から伺った話を紹介します。

まゆだまのつくりかた

まゆだまに使う枝は、あらかじめヤマ（雑木林）などから切っておきます。家によって異なりますが、ヤナギ、ナラ、カシ、ウメなどがよく使われていました。

次に、米の粉（今回は上新粉を使用）に湯を入れてよく練り、団子をつくります。丸やまゆ、作物などの形にしてから、セイロで蒸かします。食紅で赤く色づけすることもあります。

粉をこねて、団子をつくる準備。白と赤の2種類を用意しました。

児童がつくった団子。アイス、寿司、星、ハート…色々です。

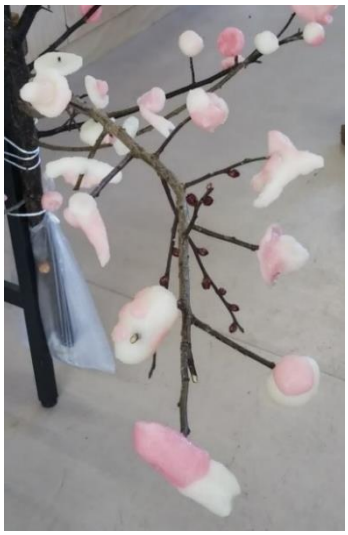
セイロで蒸し上がった団子。40 分くらいかかりました。

団子を枝に刺して、まゆだまの完成です。

まゆだまは、ひき臼（石臼）の穴にさしたり、大黒柱などにしばって座敷に飾りました。年神様へ供えるまゆだまは、ウメの枝に大きな団子を 12 個刺してつくる決まりがありました。

昔は 15 日の夕方には団子を枝からはずし、甘辛く煮たり、小豆粥の中に入れたりして食べたそうで、とてもおいしかったそうです。

また、火事にあわないよう、正月の餅やまゆだまの団子は、焼かずに煮て食べたという話も、地域の方々からうかがいました。



完成したまゆだま。地域の方が提供したウメの枝に、団子を刺し、玄関ロビーに飾りました。1週間ほど飾っていた間にウメの花が咲き、さらに華やかになりました。

イベントカレンダー（1月～3月）

＊開催時間等、詳しくは市広報等でご確認ください。
＊天候等の状況によっては、内容を変更しての開催または中止にする場合があります。

1月		
～2月18日(日)	特別公開　福田屋の至宝2　舩津嵐山「龍図」と尾形月耕「七福神」図	福岡河岸記念館
6日(土)～3月3日(日)	福岡河岸記念館フォト・絵画コンテスト展示	福岡河岸記念館
13日(土)～2月29日(木)	企画展「昔のくらしと昔の学校」	上福岡歴史民俗資料館
2月		
20日(火)～3月上旬	ひな人形展	福岡河岸記念館
24日(土)・3月3日(日)	古文書講座初級編①②	ふじみ野ステラ・ウェスト
25日(日)	水引でつくるおひなさま	旧大井村役場
3月		
5日(火)～10日(日)	上福岡歴史民俗資料館友の会作品展	上福岡歴史民俗資料館
9日(土)・23日(土)	福岡河岸記念館　特別公開	福岡河岸記念館
10日(日)	洋館で聴くライブコンサート	旧大井村役場
20日(水・祝)	古民家で聞く落語	福岡河岸記念館
20日(水・祝)・24日(日)	古文書講座中級編①②	上福岡歴史民俗資料館

●文化財日誌（令和５年７月～11 月）

７月　４日　資料館・文化財ボランティア会議
７月　８日　古い商家ではたおり体験
７月 15 日　やさしい日本語まちさんぽツアーガイド定例会
８月　２日　権現山探検「土の中のいきものをさがそう」
８月２・３日　文化財講習会（埼玉県文化財保護協会主催）
８月３・19 日　ホウキモロコシ収穫作業
８月 19 日　古い商家ではたおり体験
８月 17 日　市指定有形文化財「阿弥陀如来像」修理開始
８月８日・９月５日　資料館・文化財ボランティア会議
９月　９日　古い商家ではたおり体験
９月 10 日　ホウキモロコシ収穫作業
９月 16 日　やさしい日本語まちさんぽツアーガイド定例会
９月 19・22 日　東原小学校４年生ほうき授業
９月 26 日　東台小学校３年生ホウキモロコシ収穫
10 月　７日　見学会「旧造兵廠（火工廠）をあるく、みる、きく」（文京学院大学共催事業）
10 月 14 日　ほうきづくり友の会定例会
10 月 21 日　やさしい日本語まちさんぽツアーガイド定例会
10 月 25 日　東台小学校３年生ほうきづくり体験授業
10 月 27 日　さぎの森小学校４年生ほうきの授業
11 月 11 日　ほうきづくり友の会定例会
11 月 18 日　体験学習「ホウキモロコシでつくるミニほうき」・やさしい日本語まちさんぽツアーガイド定例会
11 月 19 日　研究会「旧軍用地とその転用から見る郊外社会」（文京学院大学共催事業）
11 月 21 日　第４回文化財保護審議会
11 月 26 日　入間東部地区文化財保護連絡協議会文化財めぐり

11月18日　ミニほうきづくり（福岡河岸記念館）

市内の文化財・遺跡情報が満載

遺跡情報システム

遺跡情報、指定文化財、石造物、神社仏閣などの場所や情報を検索できます。

▼2023 年 12 月
アクセス数 3,469 件
（昨年比＋2,504）

近場で楽しもう！

文化財ガイド

市内の文化財、神社仏閣、文化財説明板などを紹介したガイドマップです。